

4

第1章 原始と古代の日本

「日本」の国の成り立ち(1)

学習1 聖徳太子の国づくり

- 6世紀末、女性の推古天皇が即位しました。593年、聖徳太子(厩戸皇子)が天皇に代わり政治を行う摂政という役職につき、豪族の蘇我馬子と協力して、天皇を中心とする国づくりを進めました。政治の中心が飛鳥地方(奈良県)にあったことから、聖徳太子が活躍した時代を、飛鳥時代といいます。
- 聖徳太子は家柄や身分にとらわれず、有能な人物を役人に採用しようと冠位十二階を制定しました。また、十七条の憲法を定めて、天皇の命令に従うことなど役人の心構えを示しました。
- 589年、隋が中国を統一しました。聖徳太子は隋の進んだ制度や文化を取り入れようと、小野妹子らを遣隋使として派遣しました。
- 隋は、中国の南北をつなぐ大運河の建設や、高句麗遠征に失敗し、農民の反乱が起こり、7世紀初めに唐によってほろぼされました。唐は律令という法律を定めて、大帝國になりました。都の長安は、人口100万人以上の国際的都市として繁栄しました。

学習2 大化の改新と激動の東アジア

- 7世紀初め、大陸では唐が高句麗を攻撃しました。国内では、聖徳太子の死後、蘇我氏が独裁的な政治を行いました。
- 645年、中大兄皇子は中臣(藤原)鎌足らの協力を得て、蘇我氏を倒しました。そして政治の改革に着手し、皇族・豪族が支配していた土地と人民を、国が直接支配する公地公民の方針を示しました。日本独自の年号「大化」が制定されました。大化元年に始まったこの一連の改革を大化の改新といいます。
- 新羅が唐とともに高句麗や百済の軍を破りました。中大兄皇子は百済を助けるために援軍を送りましたが、663年、白村江の戦いで唐・新羅の連合軍に大敗し、朝鮮半島から手を引きました。
- 中大兄皇子は、唐や新羅からの攻撃に備え、九州に大宰府を置き、防人とよばれる兵士を配置するとともに、山城や水城を築きました。また、都を近江(滋賀県)の大津宮に移して、ここで即位して天智天皇となり、初めて全国の戸籍をつくるなど、改革を進めました。
- 天智天皇の死後、672年にあとつぎをめぐる争いが起こりました(壬申の乱)。この争いに勝って即位した天武天皇は、天皇を中心とする国家の建設をおしすすめました。天武天皇の死後、皇后

▼聖徳太子

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

▼白村江の戦い



▼防人の歌

唐衣 裾に取り付き 泣く子を
置きてぞ来ぬや 母なしにして

※このような防人の歌は、奈良時代に完成した『万葉集』に収められています。

が**持統天皇**として即位し、**藤原京**をつくりました。このころから**日本**という国号が用いられるようになりました。

学習3 大宝律令と平城京

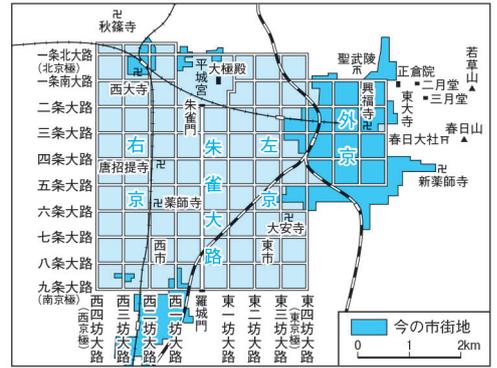
- 701年、唐のしくみにならい、**大宝律令**がつけられました。律(刑罰のきまり)と令(政治のきまり)に基づき政治が行われる国家を**律令国家**といいます。高い位をあたえられた中央の豪族は朝廷の重要な役職につき、**貴族**とよばれました。
- 710年、奈良に都が移され、**平城京**とよばれました。奈良に都が置かれていた約70年間を**奈良時代**といいます。
- 都には市が開かれ、全国から集まった産物が売買されました。また、**和同開珎**などの貨幣も発行されました。
- 地方は国ごとに**国府**が置かれ、都から**国司**が派遣されました。地方の豪族は郡司や里長になり、国司の政治を助けました。
- 戸籍に基づいて、6歳以上の男女に口分田があたえられ、その人が死ぬと国に返させる**班田收授法**が実施されました。また、人々には**租・調・庸**という税や、労役や兵役の義務が課されました。
- 人口が増加していくと、しだいに口分田が足りなくなっていきました。そこで新しく開墾した土地を永久に所有することを認める**墾田永年私財法**が743年に出されました。これにより、貴族や寺社は墾田を広げていきました。

学習4 文化・宗教・生活

- 聖徳太子や蘇我氏が熱心に仏教を信仰したことから、飛鳥時代には**仏教文化**が栄えました。この文化を**飛鳥文化**といいます。
- 蘇我氏は最初の寺院である**飛鳥寺**を建て、聖徳太子は**法隆寺**を建てました。法隆寺には、**鞍作鳥(止利仏師)**につくらせた**釈迦三尊像**などの仏像や、**扉・台座**に絵をえがいた**玉虫厨子**などがあります。また、**広隆寺**や**中宮寺**の**弥勒菩薩像**も有名です。
- 天武天皇や持統天皇の時代には、清新な文化がおこりました。この時期の文化を**白鳳文化**といいます。薬師寺東塔などの建築や、薬師寺金堂の**薬師三尊像**などの彫刻がその代表です。また、朝廷の儀式が整えられ、**伊勢神宮**が創建されました。
- 唐の制度や文化を取り入れるため、**遣唐使**がたびたび派遣されました。遣唐使の中には、唐の高官になり、唐で生涯を終えた**阿倍仲麻呂**のような人もいました。

用語 * 法隆寺…一度焼失して670年以降に再建されましたが、現存する世界最古の木造建築物といわれています。

▼平城京



▼律令政治(中央)のしくみ



※二官八省とよばれました。

▼農民の主な負担

税	租	収穫量の約3%の稲
	調	成年男子にかかる地方の特産物(絹・綿・塩・魚・貝・海藻・鉄など)
	庸	成年男子にかかる麻の布(労役の代わり)
兵役・労役	雑徭	成年男子にかかる、国司のもとで1年に60日以内の労働
	兵士	成年男子3人に1人、国ごとの軍団で1年に平均36日間兵士として訓練
	衛士・防人	兵士から選ばれ、1年間都の警備 兵士から選ばれ、3年間北九州沿岸の警備

▼法隆寺

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

■ 確認問題 ■

1 ●年表で時代の流れをつかもう● ()にあてはまる語を書きなさい。

時代	世紀	年代	できごと	中国
飛鳥時代	6	589	(①)が中国を統一する	(①)
		593	(②)が推古天皇の摂政となる	
		603	(②)が才能により役人を採用するために(③)を定める	
	604	(②)が役人の心構えを示す(④)を定める		
	607	小野妹子らを(①)に派遣する		
	7	618	(⑤)が中国を統一する	(⑤)
		645	中大兄皇子や中臣鎌足が蘇我氏を倒す	
		663	白村江の戦いで(⑤)と新羅の連合軍に敗れる	
		668	中大兄皇子が即位して天智天皇となる	
		672	皇位をめぐって(⑥)の乱が起こる	
673		(⑥)の乱に勝った大海人皇子が天武天皇となる		
676		(⑦)が朝鮮半島を統一する		
奈良時代	8	701	(⑤)にならって(⑧)律令をつくる	
		710	(⑤)の都長安にならって奈良に(⑨)京をつくる	
		743	墾田永年私財法を出す	

- ① []
- ② []
- ③ []
- ④ []
- ⑤ []
- ⑥ []
- ⑦ []
- ⑧ []
- ⑨ []

2 ●一問一答● 次の問いに答えなさい。

- (1) 犯罪や刑罰についてのきまりや、国の役所や支配のしくみを定めた法律を何というか。 []
- (2) (1)に基づいて政治を行う国家を何というか。 []
- (3) 聖徳太子が中国に派遣した小野妹子らの使節を何というか。 []
- (4) 聖徳太子の時代におこった、日本で最初の仏教文化を何というか。 []
- (5) 天武天皇や持統天皇のころにさかえた文化を何というか。 []
- (6) 蘇我氏を倒して始まった、天皇を中心とする政治のしくみをつくるための改革を何というか。 [] の改新
- (7) (6)の中心人物で、のちに天智天皇となったのはだれか。 []
- (8) (6)では、これまで皇族や豪族が支配していた土地と人民を、国家が支配するようになった。このことを何というか。 []

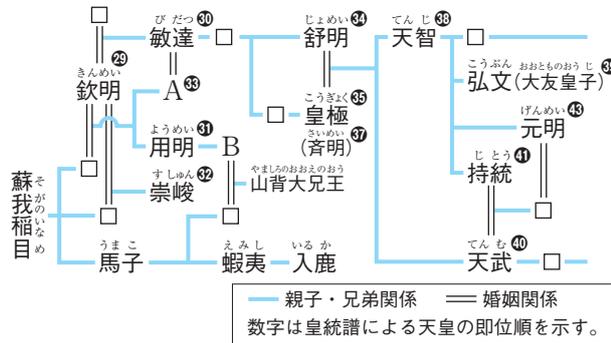
基本問題

1 次の資料を見て、あとの問いに答えなさい。

資料 I

一に曰く、和をもって貴しとなし、さからうことなきを宗とせよ。
 (和を尊び、争いをやめること)
 二に曰く、あつく三宝を敬え。三宝とは仏法僧なり。
 ([①]を信仰すること)
 三に曰く、詔を承りては、必ず謹め。
 ([②]の命令に従うこと)

資料 II



- (1) 資料 I は、ある法令の一部である。法令の名を書きなさい。
- (2) (1)を定めた資料 II の B の人物名を書きなさい。
- (3) (1)はだれに対して出されたものか。次のア～エから選びなさい。
 ア 役人 イ 天皇 ウ 農民 エ 商人
- (4) 資料 I 中の①・②にあてはまる語句を、次のア～オから選びなさい。
 ア 役人 イ 天皇 ウ 貴族 エ 仏教 オ 儒教
- (5) 資料 II の A の天皇の名を書きなさい。
- (6) 資料 II の天智天皇は、即位するまでは何とよばれていたか。
- (7) 次の各文のうち、(2)の人物が行ったものには○を、そうでないものには行っていない人名を、資料 II を参考にしながら書きなさい。
- ① 奈良盆地にわが国最初の本格的な都城である藤原京をつくった。
- ② 遣隋使を派遣し、中国の文化を取り入れようとした。
- ③ 壬申の乱に勝って即位し、天皇を中心とした政治の基礎を築いた。

1

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	①
(4)	②
(5)	
(6)	
(7)	①
(7)	②
(7)	③

2 右の資料を見て、次の問いに答えなさい。

- (1) 資料 I は、農民の負担を示している。資料 I の①～④にあてはまる語句を書きなさい。
- (2) 戸籍に基づいて、6歳以上の男女に与えられた田を何というか。
- (3) (2)が不足してきたこともあり、新しく開墾された土地の私有が認められる法令が出された。この法令を何というか。
- (4) 資料 II の歌は、北九州沿岸の防衛のために派遣された兵士が歌ったものである。この人たちを何というか。
- (5) 九州に置かれ、九州全域の政治の中心となった役所を何というか。

資料 I

税	租	収穫の約3%の(①)を納める
	(②)	絹・布・綿・塩など各地方の特産物を納める
	(③)	労役のかわりに布地を朝廷に納める
労役	(④)	国司などに命じられ、60日以内の地方での労働をする

資料 II

可良己呂武 須宗尔等里都伎 奈苦古良乎
 意伎弓曾伎怒也 意母奈之尔志弓
 (唐衣 裾に取り付き 泣く子らを
 置きてぞ来ぬや 母なしにして)

(『万葉集』より)

2

(1)	①
(1)	②
(1)	③
(1)	④
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	

練習問題

1 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

6世紀末、推古天皇の()となった聖徳太子は、天皇中心の政治をめざして、蘇我氏とともに新しい政治をはじめた。家柄にとらわれず、優れた人物を役人に採用するための制度を定めるとともに、仏教や儒教の考えを取り入れて、十七条の憲法を定めた。また、進んだ政治のしくみや文化を取り入れ、隋に遣隋使を派遣するとともに、留学生や留学僧を同行させた。

「日出づる処の天子、書を日没する処の天子に致す。恙無きや…」
①送ります ②恙無きや…
②ご無事におすごしですか

- (1) 文中の()にあてはまる語句を書きなさい。
- (2) 下線部①を何というか。
- (3) **表現力** 下線部②を定めた目的を簡潔に書きなさい。
- (4) **表現力** 下線部③で、右の資料を参考に、聖徳太子が隋に使いを送った目的を、簡潔に書きなさい。
- (5) 下線部④について、次の文中の()にあてはまる国名を書きなさい。
隋は、朝鮮半島の()と対立していたため、倭国(日本)との関係を重視して、聖徳太子の願いを受け入れた。
- (6) 下線部⑤のあと、中国を統一した王朝名を書きなさい。
- (7) (6)が整備した法律を何というか。
- (8) 下線部⑥として派遣された人物名を書きなさい。

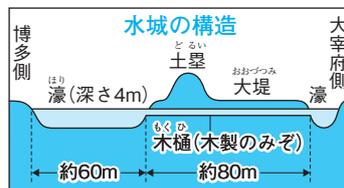
(1)	
(2)	の制度
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	

2 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

聖徳太子の死後、蘇我氏の勢力がいつそう強大化したので、中大兄皇子らは、645年、蘇我氏をたおすとともに、唐にならった国づくりをめざし、政治の改革に着手した。朝鮮半島では、(①)が唐と結んで(②)を攻めたので、大和朝廷は(②)を支援するため、大軍を送った。しかし、白村江の戦いで(①)・唐の連合軍に大敗し、朝鮮半島から手を引いた。

天皇の死後、皇位をめぐる争いがおこった。この争いに勝った大海人皇子は、天皇に即位して、天皇を中心とする国家の建設をはじめた。

- (1) 文中の①・②にあてはまる国名を書きなさい。
- (2) 下線部③は、のちに何という天皇になったか。
- (3) 下線部④を何というか。
- (4) 下線部⑤の場所を、右の地図中のア～エから選びなさい。
- (5) 下線部⑥ののち、中大兄皇子は、右下の図のような水城を大宰府に築いた。このような水城がつくられた理由を、次のア～ウから選びなさい。
ア ふたたび朝鮮半島へ出兵するための準備をする。
イ 大規模な建築工事によって人々の不満をそらす。
ウ 唐などが攻めてくるのに備え、守りをかためる。
- (6) (5)のために北九州に派遣された兵士を何というか。
- (7) 下線部⑦はだれか。
- (8) (7)の皇后は、改革を受けつぎ何天皇となったか。



(1)	①	
(1)	②	
(2)		
(3)		
(4)		
(5)		
(6)		
(7)		
(8)		

③ 次の資料を見て、あとの問いに答えなさい。

□(1) 資料Ⅰは、聖徳太子によって建てられた、世界最古の木造建築物として知られている寺院である。この寺院の名を書きなさい。

□(2) 資料Ⅰに残されているものとしてあてはまるものを次のア～エから選びなさい。

- ア 釈迦三尊像 イ 興福寺阿修羅像
ウ 日光菩薩像 エ 月光菩薩像

□(3) 資料Ⅰの寺院や(2)の仏像に代表される文化を何というか。

□(4) 薬師寺東塔に代表される文化を何というか。

□(5) (4)の文化に関係が深いものを、次のア～エから選びなさい。

- ア 百済観音像 イ 玉虫厨子 ウ 中宮寺弥勒菩薩像 エ 薬師三尊像

□(6) (4)の時代の中心人物である二人の天皇の名を書きなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

③

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	

④ 次の文を読んで、あとの問いに答えなさい。

701年、唐の制度にならい、[Ⓐ]刑罰のきまりと[Ⓑ]政治のしくみにもとづく国家のしくみを整える法令が完成し、[Ⓒ]中央政府と[Ⓓ]地方のしくみが定められた。710年には[Ⓔ]奈良に都が移され、政治を行う役所がおかれた。

朝廷は、[Ⓕ]戸籍にもとづいて、6歳以上の男女に()をあて、死ねば返させる制度をとった。農民には、租や[Ⓖ]調・庸の税が課せられるとともに、兵役の義務もあった。人口の増加とともに、税や兵役、[Ⓗ]労役がきびしくなると、それを逃れようとする農民が増え、()が不足するようになった。そこで朝廷は開墾を奨励し、743年には、[Ⓘ]墾田永年私財法を出した。

□(1) 文中の()にあてはまる語句を書きなさい。

□(2) 下線部[Ⓐ]を何というか。

□(3) 下線部[Ⓑ]を何というか。

□(4) 下線部[Ⓒ]で、朝廷の重要な仕事を担当した、有力な豪族を何というか。

□(5) 下線部[Ⓓ]で、都から派遣され、それぞれの国の仕事を行った役人を何というか。

□(6) 下線部[Ⓔ]で、(5)が監督した地方の役人は里長と何か。

□(7) 下線部[Ⓕ]で、この都を何というか。

□(8) 右の資料は、(7)の都で開かれた東西の市で使われた。

この銭貨を何というか。

□(9) 下線部[Ⓖ]を何というか。

□(10) **表現力** 下線部[Ⓗ]の負担が重かった理由を、「都」という語句を使って、書きなさい。

□(11) 下線部[Ⓗ]で、(5)のもとで、60日以内の労働をすることを何というか。

□(12) **表現力** 下線部[Ⓘ]はどういう法令か。「開墾」、「私有」という語句を使って、書きなさい。

著作権者への配慮から、掲載を差し控えております。実際の教材には掲載されておりますのでご安心ください。

④

(1)	
(2)	
(3)	
(4)	
(5)	
(6)	
(7)	
(8)	
(9)	
(10)	
(11)	
(12)	